

2022年1月24日

CVIT 会員 各位

2020年研修施設群制度連携施設構成について
事務局手違いによる施設認定もれ事象のお詫びとご報告

日本心血管インターベンション治療学会

理事長 伊莉 裕二

専門医認定医制度審議会 委員長 上妻 謙

研修施設認定、研修施設群小委員会 委員長 川井 和哉

事務局長 佐藤 淳子



平素より学会活動にご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2020年研修施設群制度 連携施設申請において、本学会事務局の過失により、基幹施設（研修施設）との構成が1年間なされず、在籍する専攻医（認定医）の先生が心血管カテーテル治療専門医資格取得を目指すために必要な、研修履歴の取得が行えなかった事例が発生いたしました。

コロナによる事務局体制が在宅に移行した時期のことでもありますが、事務局の人的ミスおよび事例発生後の対応の不手際により起こったもので、関係者の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしました。心よりお詫び申し上げます。

重ねて、該当のご施設およびご在籍の先生方には一切の過失はなく、早急に該当のご施設には、影響期間の救済を検討してまいります。

原因につきましては、事務局内の書類管理体制、情報共有が不徹底だったことによりますので、再発防止策を徹底する所存です。

【発生経緯】

御施設名：大分市医師会立 アルメイダ病院

対象期間：2020年1月1日～2020年12月31日

経緯：2019年10月大分市医師会立アルメイダ病院より連携施設申請郵送／簡易書留にて申請書が到着（郵送記録有り）したが、事務局にて何らかの不手際により書類を認識しないまま、申請を確認できずに、結果として研修施設群基幹施設との構成を行わなかった。2020年10月アルメイダ病院より研修施設群の構成について確認の連絡があり、在宅勤務であったが、急遽 CVIT 八丁堀事務局に書類を探しに行ったが見つかることができず、結果としてアルメイダ病院は2020年の1年間専攻医（認定医）が3名在籍している状態で研修歴（係数1）としてカウントされない事態となった。

事務局担当者よりメールにて問い合わせのあった担当者に電話にて説明し、お詫びと遡っての研修歴（係数1）としてはお認めできない旨を事務局の判断のみで伝え、事務局の中で完結したものとして認識した。メールにて施設代表医の先生にもお伝えすべきところ、完結したものとして2020年のアルメイダ病院は研修施設群構成なしとして取り扱いを行った。施設代表医の先生より、当時の状況は完結しておらず、当時の専攻医（認定医）の研修歴に影響があったことが指摘され、今回の問題が認識されるに至った。

【救済と再発防止について】

本学会理事長、専門医認定医制度審議会委員長、施設認定小委員会委員長と協議の上、大分市医師会立アルメイダ病院に当時在籍され、心血管カテーテル治療専門医資格の取得を目指していた専攻医（認定医）の先生は、該当期間分の心血管カテーテル治療専門医新規申請条件である研修歴を救済する方向で検討中です。

今後、このような事態が起こらないために書類の一元管理を徹底させてまいります。なお、現在、事務局業務は在宅勤務（テレワーク）にて運営を行っており、郵送書類の授受は、一元管理を徹底して行っております。

重ねてとなりますが、関係者、会員の皆様には大きな不信感とご迷惑をお掛けし、深くお詫びを申し上げます。

以上

本件事務取扱に関する責任者およびお問い合わせ先
一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会
事務局長 佐藤淳子
〒104-0033 東京都中央区新川 2-20-8 八丁堀スクエア 2F
Email : info@cvit.jp